７０．豊後・肥後街道―鶴崎路

選定箇所：二重の峠～車帰、滝室坂（熊本県阿蘇市）※１、大利～山鹿（産山村）、今市（大分県大分市）

概要：豊後街道は、熊本城下の札の辻を起点として、大津町、阿蘇市の二重の峠を越え、内牧を経て大分の久住、豊後鶴崎に至る街道である。加藤清正により、政治、経済、軍事の重要なルートとして整備され、加藤家の跡を継いだ細川家が参勤交代時に利用した道として知られる。

熊本県域で歴史の道百選に選定されているのは、阿蘇市の二重の峠－車帰、阿蘇市の滝室坂、産山村の大利－山鹿で、二重の峠、滝室坂、弁天坂等で石畳が良好な状態で残されている。

大分市の今市は岡藩の宿場として中川氏によって整備され、熊本藩主が通る時は岡藩御茶屋でそばが振舞われた。６６０ｍに渡り敷き詰められた平石の石畳が現存しており、途中の折れ曲がった箇所には「火除藪床」が設けられた。

※１　阿蘇市狩尾地域の一部区間について、砂防堰堤工事における関係工事車両の通行による安全確保のために、２０２０年１月中旬から３月末まで通行止め。ほかの箇所は通行可。

二重峠石畳会

今市（写真提供：大分市教育委員）